

姉小路界隈を歩こう

姉小路界隈は、京都を代表する老舗がたくさん集まっています。生活の場の中にひっそりとたたずむ老舗の多くは、伝統的な建物を大事にしなが、商売をしています。また、多くの老舗が由緒のある木彫看板を掲げています。これらを探しながら、姉小路界隈を歩いてみませんか。



まち歩きの方法

姉小路界隈には、魅力的な歴史的な建物がたくさんありますが、多くの建物が地域の人たちが生活をしている住まいです。建物の中をのぞきこまないようにしましょう。

- 凡例
- 国の登録有形文化財
 - 京都市民が選ぶ「京都を彩る建物・庭園」に選定された建物
 - 町式目の駒札
 - 地下鉄出入口
 - コンビニ (ATM有)
 - バス停



1 亀末廣

1840年に創業した京菓子の老舗です。明治時代のパリ万博に出展しました。ヒノキの一枚板の看板の周りに菓子の木型が使われているのが特徴です。



木型 いろいろ

木製看板鑑賞



2 春芳堂

1790年に創業した表具の老舗です。表具とは、書や絵画を保存、鑑賞するために紙や布を貼る技術です。看板は、戦前の京都を代表する日本画家である竹内栖鳳による書です。



木製看板鑑賞



たけうちせいほう 竹内栖鳳 (1864~1942)



日本画家。近代日本画の先駆者で、動物を描けば、その匂いまで描くと言われた達人。

3 八百三

1708年創業の味噌屋です。お店の中にある看板は、芸術家で美食家でもあった北大路魯山人が書き、自ら彫ったものです。看板に彫られている「柚味噌」はお店を代表する調味料です。



木製看板鑑賞



きたおじろさんじん 北大路魯山人 (1883~1959)



20世紀を代表する日本の芸術家。篆刻家・画家・陶芸家・書道家・漆芸家・料理家・美食家など様々な顔を持っていた。

姉小路通をはさむ 2つの個性的な通り

姉小路界隈は、老舗のお店を中心とした伝統的な建築である町家で構成された落ち着いた雰囲気のある通りです。一方で南側に位置する三条通は、日本橋を起点とした東海道の終点である三条大橋から西に延びる通りで、明治時代以降、レンガ造の近代建築が並ぶモダンな街並みになっています。また、北側に位置する御池通は、戦後京都のシンボルロードとして整備された街路樹等が整備された美しい道路になっています。

京都文化博物館

京都の歴史と文化をわかりやすく紹介している施設です。京都ゆかりの優れた品を紹介しているほか、シアターでは、京都府所蔵の名作映画を上映しています。館内には、雑貨店や飲食店、カフェも併設しており、休憩やおみやげ選びにも最適です。別館の建物は旧日銀行京都支店で、国の重要文化財に指定されています。

開館時間：総合展示 10:00~19:30 (入場は19:00まで)
 特別展示 10:00~18:00 (入場は17:30まで)
 休館日：月曜日(祝日開館、翌日休館) / 12月28日~1月3日
 入場料：一般 500円 / 大学生 400円 / 高校生以下 無料
 HP: <http://www.bunpaku.or.jp>

4 ガス灯

まちづくりのシンボル



姉小路界隈のまちづくりのシンボルです。この場所の近くに1909年に京都瓦斯の本社が設立されました。

5 彩雲堂

明治時代初期に創業した、日本画の絵の具や筆などの画材店です。伝統的な製法で画材の製造を行っています。看板は、お客さんでもあった画家の富岡鉄斎による書です。



とみおかてっさい 富岡鉄斎 (1836~1924)
 明治・大正期の文人画家、儒学者。独特の筆致と淡い色調の個性的な絵を残す。



木製看板鑑賞



6 総本家河道屋

江戸時代から菓子和蕎麦を商っている老舗です。明治時代に開発されたお菓子「蕎麦ほうろく」が代表的な商品です。看板は、思想家で宗教家の西田天香による書です。



にしだてんこう 西田天香 (1872~1968)
 宗教家・社会事業家、政治家。一燈園の創始者。



木製看板鑑賞

